

心理学部 現代心理学科		2024年度入学生 カリキュラム							
		1年次		2年次		3年次		4年次	
特別科目		まほろば教養ゼミⅠ		まほろば教養ゼミⅡ		まほろば教養ゼミⅢ		まほろば教養ゼミⅣ	
共通教育科目		共通教育科目の中から32単位以上を修得する							
専門教育科目	展開科目	基本科目・卒業研究	心理学概論Ⅰ・Ⅱ 心理学基礎演習Ⅰ（心理学実験） 発達心理学 人間学 臨床心理学概論Ⅰ	心理学研究法 健康科学 社会心理学	心理学基礎演習Ⅱ・Ⅲ 教育・学校心理学 心理学課題演習Ⅰ・Ⅱ 心理学統計法Ⅰ	卒業研究Ⅰ・Ⅱ	卒業研究Ⅲ・Ⅳ 卒業論文		
		発達・教育			学習・言語心理学 乳幼児・児童心理学 発達障害の理解と支援 知覚・認知心理学Ⅰ・Ⅱ 発達臨床演習	教育相談の理論と方法 乳幼児・児童心理学 青年・成人心理学 高齢者心理学 発達障害の理解と支援 知覚・認知心理学Ⅰ・Ⅱ 司法・犯罪心理学 発達臨床演習	乳幼児・児童心理学 青年・成人心理学 高齢者心理学 発達障害の理解と支援 知覚・認知心理学Ⅰ・Ⅱ 司法・犯罪心理学		
		社会・対人関係			行動経済学 社会・集団・家族心理学 対人関係論 色彩・デザインの心理 文化心理学 調査概論	消費行動の心理学 心理学統計法Ⅱ 社会・集団・家族心理学 対人関係論 対人関係演習 産業・組織心理学 コミュニケーション心理学 環境心理学 色彩・デザインの心理 文化心理学 調査概論	社会・集団・家族心理学 対人関係演習 産業・組織心理学 コミュニケーション心理学 環境心理学 色彩・デザインの心理 文化心理学 調査概論		
		健康科学	人体の構造と機能及び疾病 倫理学		解剖学・生理学 子どもの保健 精神保健 福祉心理学 神経・生理心理学 健康・医療心理学	精神疾患とその治療 ストレスマネジメント演習 神経・生理心理学 健康・医療心理学	健康・医療心理学		
		臨床心理学	臨床心理学概論Ⅱ		公認心理師の職責 パーソナリティ心理学 感情・人格心理学 心理学的支援法 家族心理学 障害者・障害児心理学	心理演習 関係行政論 感情・人格心理学 心理療法 心理的アセスメント 障害者・障害児心理学	心理実習 心理学的支援法 認知行動療法論 家族心理学	感情・人格心理学 心理療法 心理的アセスメント 心理学的支援法 認知行動療法論 家族心理学	心理学的支援法 認知行動療法論 家族心理学
		学校保健	学校保健		衛生学 養護実践論 微生物・免疫学 基礎看護学概論 看護救急処置	養護概説 栄養学・食品学 学校応急処置	公衆衛生学 健康相談活動の理論と方法 学校応急処置演習 看護学臨床実習指導 看護学臨床実習		
	免許状・資格取得のための科目	教育職員免許状に関する科目	教職論 教育原論		教育・学校心理学 教育課程論 道徳教育論 教育方法論 学校等支援活動		教育制度論 生徒指導論 教育相談の理論と方法 特別支援教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 養護実習指導 学校等支援活動	養護実習 教職実践演習（養護教諭） 学校等支援活動	
認定心理士に関する科目		この資格は、「専門教育科目」の中から指定された科目の単位を修得することにより取得できる。							
認定心理士（心理調査）に関する科目		この資格は、認定心理士の資格を取得していることが前提となるため、認定心理士の必要単位を修得することに加え、「専門教育科目」の中から指定された科目の単位を修得することにより取得できる。							
公認心理師に関する科目		この資格は、「専門教育科目」の中から指定された科目の単位を修得し、さらに公認心理師養成カリキュラムのある大学院に進学し修了すること、または公認心理師法第7条第2号に規定する認定施設での2年以上の実務経験をへて、国家試験に合格する必要があります。また、公認心理師登録簿への登録を受ける必要があります。つまり、国家試験に合格し、登録が完了して初めて登録証が交付されて「公認心理師」となることができます。							
准学校心理士に関する科目		Aタイプは教員免許の取得に加え、「専門教育科目」の中から指定された科目の単位を修得することにより取得できる。 Bタイプは、「専門教育科目」の中から指定された科目の単位を修得することにより取得できる。							
	社会調査士に関する科目	統計学				ビジネス心理学演習Ⅰ・Ⅱ	ビジネス心理学演習Ⅰ・Ⅱ		

※赤字：卒業必修科目 ※青字：開講されているいずれかの年次で履修することができます。

※免許状・各資格の取得については、「免許状・資格取得のための科目」のほかに、「共通教育科目」「専門教育科目」の中から指定された科目の単位を修得しなくてはならないことがある。